

第2回 青森市総合計画審議会 総会 議事要旨

【日 時】平成30年9月30日（日）10：00～10：40

【場 所】ラ・プラス青い森 2階 メープル

【出席者】香取 薫 会長 内海 隆 委員、福岡 裕美子 委員、井上 隆 委員、
櫻田 清明 委員、福士 修身 委員、西 秀記 委員、加川 幸男 委員、
柿崎 泰明 委員、佐藤 秀樹 委員、工藤 昭 委員、寺林 直子 委員、
大坂 美保 委員、木村 克己 委員、本田 明弘 委員、森内 忠良 委員
計16名

【欠席者】内山 清 委員、加藤 徳子 委員、奈良 秀則 委員、成田 祥耕 委員、
前田 保 委員 計5名

【オブザーバー・傍聴者等】なし

【事務局】前多副市長、小川企画部長、横内企画部理事、舘山企画調整課長ほか 計12名

【配付資料】

- ・次第
- ・青森市総合計画基本構想答申（案）【概要版】
- ・「青森市総合計画基本構想」答申（案）
- ・新総合計画と旧総合計画の基本構想構成比較表（案）
- ・「青森市総合計画 基本構想」答申（案）における第1章から第4章の相関表
- ・分科会における主な委員意見と基本構想「施策の大綱」への反映[抜粋]
- ・基本計画答申までの主なスケジュール

【会議の概要】

配付資料の見方を確認したのち、「青森市総合計画基本構想答申（案）」について事務局から説明。基本構想答申（案）に対する委員意見を踏まえ、当該答申（案）に一部修正を加えた上で、基本構想答申とすることが決定された。

【意見の概要】

（佐藤委員）

・「まちづくり」や「まち」という言葉について、漢字と平仮名が混在し、表記に統一性がなく分かりにくいため、カギ括弧や注釈をつけるなど、市民にとって分かりやすいような形で作っていただくことが必要なのではないかと思う。

（事務局）

・それぞれ意図を持って使っている言葉であり、資料上は用語の定義やコメントの部分を省略していたため、言葉の意味を余白に記載して分かりやすい状態にしたいと思う。

（大坂委員）

・とても簡潔にまとめられていると思うが、市民を始め、いろいろなかたが見ることを考慮すると、「ヘルスリテラシー」などの言葉にも注釈等を付けて、分かりやすくことを希望す

る。

(木村委員)

・概要版が素晴らしくまとめられているが、記載されている矢印を見ると、基本視点から諸課題の方に集中されているようなイメージがあり、矢印の方向が逆ではないかと思う。

(香取会長)

・人口減少という課題を施策の大綱によって打ち壊していく、課題そのものを攻撃するというイメージで作ったものであるが、総括分科会でも同様の意見があり、そういう意見が出るということは、概要図のところに説明を書いた方がいいと思うが、いかがか。

(事務局)

・工夫させていただく。

(西委員)

・本市の直面する諸課題の「(5) 多発する自然災害・空家等の増加」について、多発する自然災害と空家の関係性が分からない。多発する自然災害や空家等の増加の問題を解決する手段として、コンパクト・プラス・ネットワークというまちづくりの理念があるかのように誤解をされかねないので、この部分を説明していただきたい。

(事務局)

・都市としてのさまざまな課題がある中でも、特に災害の発生が多く、災害にも対応できる都市づくりという課題がある。これと直接の関わりがある訳ではないが、同じように、都市における大きな問題として、空家の増加というのがさまざまな課題を生んでいるということがあり、この2つを掲げている。全体的には今後の都市づくりをどうしていくかという課題に対して、コンパクト・プラス・ネットワークという持続可能な視点を記載しているが、図だけでは分かりづらいところもあるため、先程の意見も含め、何かしら工夫させていただきたい。

(香取会長)

・「多発する自然災害」の後が「、(読点)」であれば並列に見えるが、「・」があるので、多発する自然災害の一つとして、空家等の増加があるとイメージされてしまうのだと思う。その辺の工夫が必要かと思うが、いかがか。

(西委員)

・分かりやすくなりさえすればいい。

(香取会長)

・概要版は簡潔で分かりやすいが、市民に誤解を与えないように。

(事務局)

・「多発する自然災害」の後は「、(読点)」に修正させていただく。